



カメラ玄関機
VL-V570L



モニター親機
VL-MV32KL

品名 **テレビドアホン**

品番 **VL-SV32KL**

もくじ

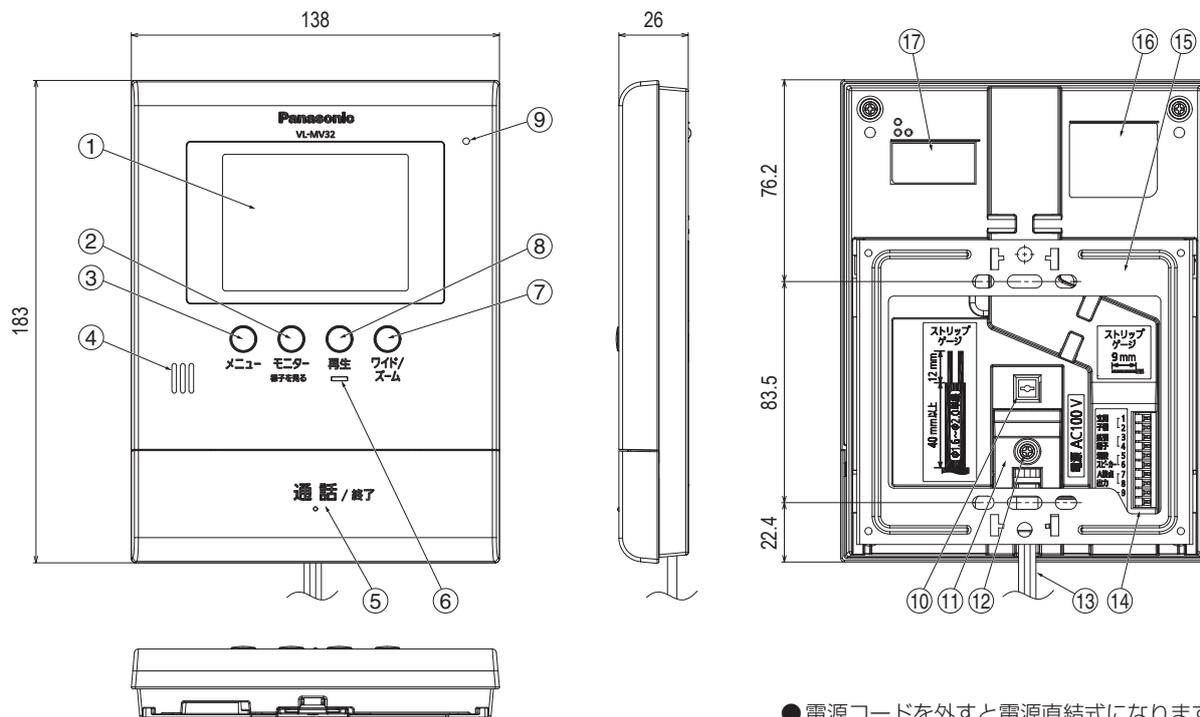
仕様／外形寸法図／付属品	2
・ドアホン親機：モニター親機 VL-MV32KL	2
・ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V570L	3
各部のなまえとはたらき	4
・ドアホン親機：モニター親機 VL-MV32KL	4
・ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V570L	5
システム構成図	6
・別売品	7
・推奨品	7
設置上のお願い	8
・設置場所について	8
・工事について	9
配線系統図	12
ドアホンを取り付ける	13
ドアホン親機を取り付ける	16
・正しく動作するか確認する	19

商品仕様書図	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	1/19

仕様／外形寸法図／付属品

ドアホン親機：モニター親機 VL-MV32KL

単位 [mm]



●電源コードを外すと電源直結式になります。

■仕様

電 源	AC 100 V (50 Hz / 60 Hz)
消費電力	待ち受け時：約1.8 W、動作時：約9 W
外形寸法	高さ183 mm×幅138 mm×奥行26 mm (突起部除く)
質 量	約450 g
使用環境条件	周囲温度：0℃～+40℃、湿度：90%以下
画面表示	3.5型TFTカラー液晶ディスプレイ
通話方式	ハンズフリー方式
取付方法	露出壁掛け(壁掛け金具付属)
外觀材質	難燃ABS樹脂(パネル部：ポリカーボネイト樹脂)
A接点出力*	定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A以下 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA

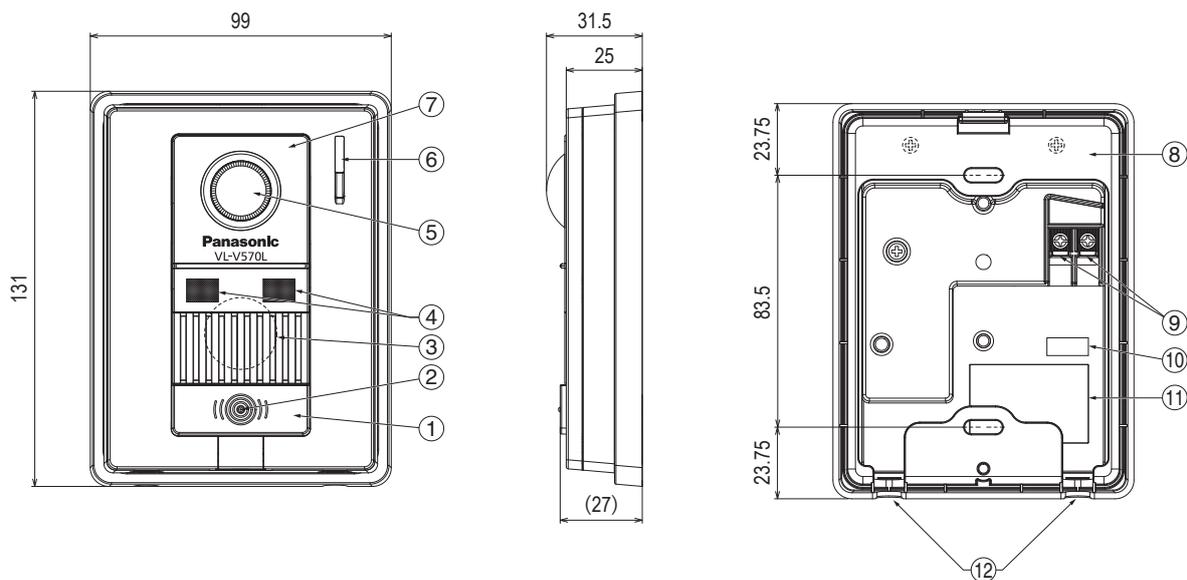
* ドアホンの着信時、火災警報器の反応時に出力

■付属品

- 壁掛け金具..... 1個
- 壁掛け用木ねじ(4 mm×16 mm)..... 2個
- 壁掛け用小ねじ(4 mm×25 mm)..... 2個
- 圧着スリーブ..... 2個
- 単芯線ケーブル
(より線接続用、全長約7 cm)..... 2本

番号	名 称
①	液晶ディスプレイ(LCD)
②	モニター(様子を見る)ボタン
③	メニューボタン
④	スピーカー
⑤	通話ボタン
⑥	再生ランプ(赤)
⑦	ワイド/ズームボタン
⑧	再生ボタン
⑨	マイク
⑩	AC端子
⑪	ACカバー(電源コードカバー)
⑫	ACカバー止めねじ
⑬	ACコード(電源コード)
⑭	DC端子
⑮	壁掛け金具
⑯	銘板
⑰	シリアルNo.ラベル

仕様／外形寸法図／付属品 (ドアホン親機：モニター親機 VL-MV32KL)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	2/19



■仕様

電 源	(ドアホン親機より供給) 待ち受け時：DC 約5 V / 2 mA 動作時：DC 約20 V / 180 mA	
外形寸法	高さ131 mm×幅99 mm×奥行25 mm (突起部除く)	
質 量	約170 g	
使用環境条件	周囲温度：-10℃～+50℃、湿度：90%以下	
画 角	ワイド	左右 約170°、上下 約130°
	ズーム	左右 約100°、上下 約80°
取付方法	露出型：JIS1 個用スイッチボックス(カバー付き)適合	
外観色調	表面パネル：ステンシルパー、側面：ブラック	
外観材質	難燃ABS樹脂(レンズカバー部：アクリル樹脂)	
最低被写体照度	1ルクス(カメラから約50 cm以内)	
照明方法	LEDライト(照明用ランプ)	
防 水 性	IPX3※ (IEJIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)	

※ 鉛直から両側に60°までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

■付属品

- 壁掛け用木ねじ(3.8 mm×20 mm).....2個
- 壁掛け用小ねじ(4 mm×25 mm).....2個

番号	名 称
①	呼出ボタン
②	位置表示ランプ
③	スピーカー
④	LEDライト
⑤	カメラ部
⑥	マイク
⑦	レンズカバー
⑧	露出ボックス
⑨	接続端子
⑩	ロットNo.ラベル
⑪	銘板(刻印)
⑫	水抜き穴

仕様／外形寸法図／付属品 (ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V570L)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	3/19

各部のなまえとはたらき

ドアホン親機：モニター親機 VL-MV32KL

液晶ディスプレイ

- 映像などを表示する

例) ドアホン着信中の場合



ガイド(☞ 取扱説明書9ページ)

● 機能(メニュー)の設定をする
(☞ 取扱説明書26~28ページ)

メニュー

● ドアホン側の様子を見る
(☞ 取扱説明書15ページ)

モニター

様子を見る

● 録画した画像を再生する
(☞ 取扱説明書20ページ)

● 表示中の映像を録画する
(☞ 取扱説明書19ページ)

再生

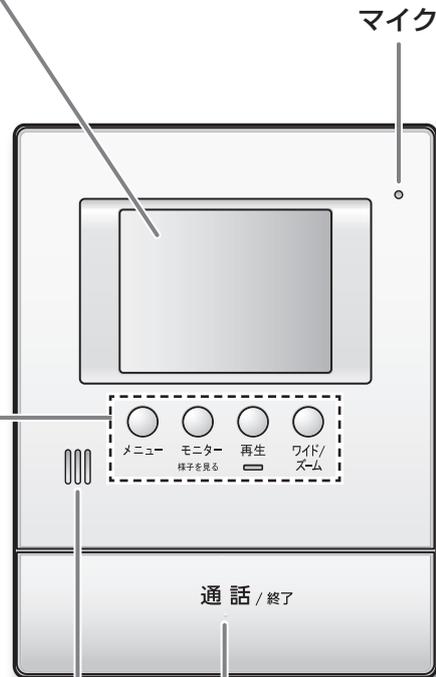
再生ランプ

新しく自動録画した未再生画像
があると点滅する
(☞ 取扱説明書18ページ)

● 映像表示をワイド/ズームに
切り替える
(☞ 取扱説明書16ページ)

ワイド/
ズーム

上記のほかに、ボタンガイドで表示
された操作をするときも使います。
(☞ 取扱説明書9ページ)



スピーカー

通話/終了ボタン

- 通話する(☞ 取扱説明書12ページ)
- 通話などの操作を終わる

各部のなまえとはたらき (ドアホン親機：モニター親機 VL-MV32KL)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	4/19

ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V570L

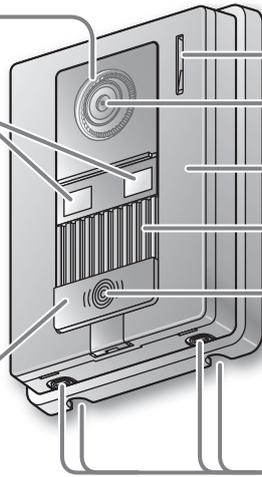
レンズカバー

LEDライト(照明用)

- 「ドアホン照明自動点灯」設定 (取扱説明書28ページ)により自動で点灯したり、通話中などドアホン親機から手動で点灯/消灯させることもできる (取扱説明書13ページ)

呼出ボタン

- 押すと呼出音が鳴る
- 押し続けながら話すと、下記の「ただいまコール」がはたらく



マイク

カメラレンズ

パネル

スピーカー

位置表示ランプ

- 暗いときでも呼出ボタンの位置がわかるように常時点灯する

水抜き穴(4か所)

- 雨水を抜くための穴です。ふさがらないでください

ただいまコールについて

室内の相手が応答しなくても、「ただいま」などと呼びかけることができる機能です。



① 呼出ボタンを押したまま、約3秒後に呼びかける

- ボタンを押すと同時に話し始めると、話の最初が途切れます
- 室内では映像が映り、ドアホン親機に呼びかけが聞こえます



② 終わったら、指を離す



お知らせ

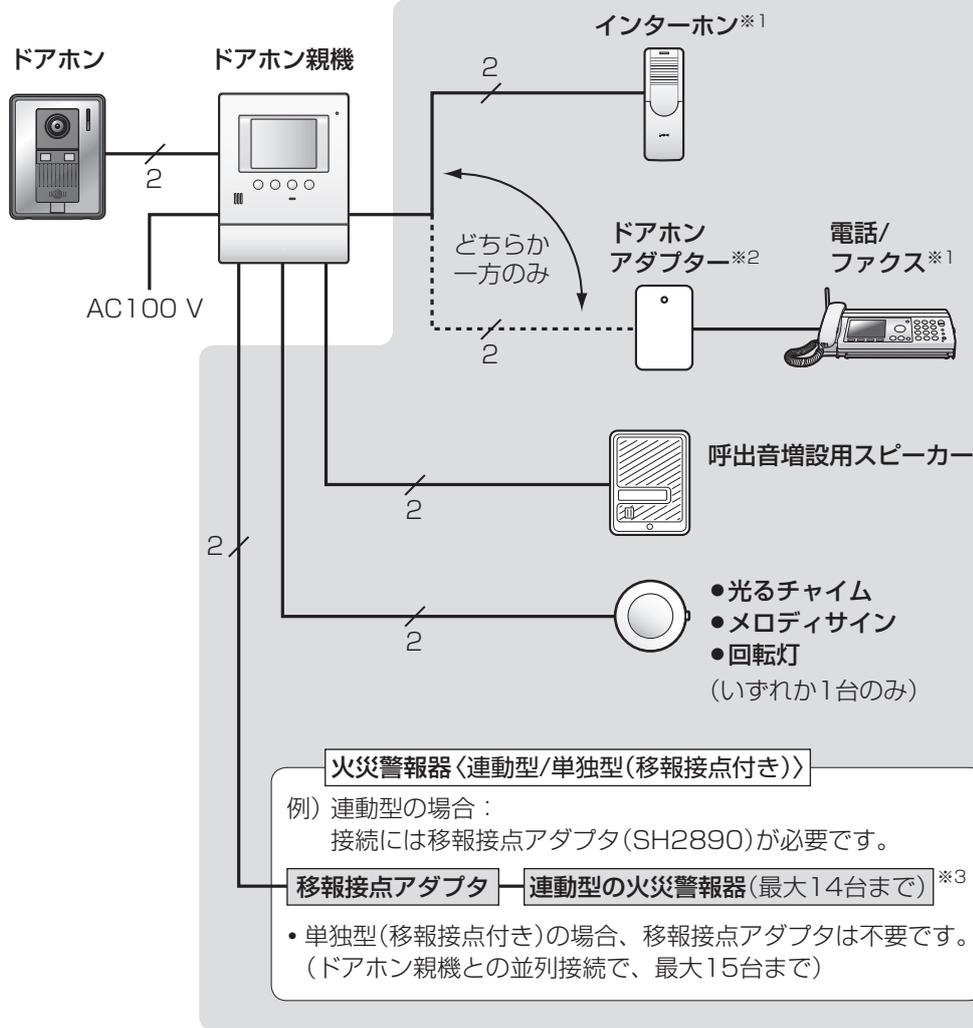
- ただいまコール時にドアホン親機から聞こえる声の大きさは、ドアホンの呼出音量の設定 (取扱説明書22ページ) に連動します。

ドアホンの画質について

- 太陽光などの強い光が入ると、光の反射模様や白い輪が映ることがあります。
- カメラレンズの特性により、映像がゆがんで見えることがあります。
- 夜間などドアホンの周囲が暗いときの映像について
 - ・ 外灯などで明るいところや白い壁は緑っぽく映ることがあります。
 - ・ LEDライト点灯時でも、撮影範囲の両端付近(ドアホンの真横など)はライトが届かず、ドアホンとの距離が近くても顔の識別がしにくくなります。(補助灯などの設置をお勧めします)

各部のなまえとはたらき (ドアホン：カメラ玄関子機 VL-V570L)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	5/19

システム構成図



- ※1 インターホンや電話/ファクスを接続しても、ドアホン親機との室内通話はできません。
- ※2 電話/ファクス接続時に必要です。(本機には、配線なしで電話/ファクスを接続するワイヤレスアダプター機能はありません)
- ※3 接続できる連動型の火災警報器については、移報接点アダプタの説明書をご覧ください。

システム構成図	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	6/19

別売品

(ご注文は、お買い上げの販売店にお申し付けください)

品番および価格は 2009 年 10 月現在のものです。

製品名	品番	希望小売価格(税込)
インターホン	VL-A467LAK	13,440 円
	VL-A467LAX	13,440 円
	VL-A468LA	12,075 円
	VL-F411X-W	12,915 円
ドアホンアダプター※1	VE-DA10-H	10,500 円
呼出音増設用スピーカー※2	VL-862W	2,520 円

※1 ドアホンアダプターには、当社製の電話/ファクス(ドアホンアダプター対応機種)が接続できます。

※2 パナソニック電工(株)製の増設スピーカー(EC95352)も本機に接続できます。

推奨品

品番は 2009 年 10 月現在のものです。

製品名	品番	
光るチャイム	パナソニック 電工(株)製	EC170 (P)
メロディサイン	パナソニック 電工(株)製	乾電池式 EC5227W (P)、 EC5117WKP、EC5347※3
		AC100 V式 EC710K、EC721K、 EC730W※3
回転灯	(株)パトライト製	KJS-110、KJSB-110、KES-110
単独型 住宅用火災警報器 (移報接点付き)	パナソニック 電工(株)製	ねつ当番 SH28113、SH28153K、 SH38153
		けむり当番 SH28413、SH28453K、 SH38453
	能美防災(株)製	熱検知式 FSLJ006-Sシリーズ
		煙検知式 FSKJ216-Sシリーズ
移報接点 アダプタ※4	パナソニック 電工(株)製	SH2890

※3 EC5347、EC730Wはオートストップ機能付きです。

(オートストップ機能がない場合、30秒間チャイムが鳴動します)

※4 連動型の住宅用火災警報器を本機に接続するためのアダプタです。

接続できる火災警報器については、アダプタの説明書をご覧ください。

システム構成図 (別売品・推奨品)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	7/19

設置上のお願い

設置場所について

こんなところには設置しない (故障や動作障害などの原因になります)

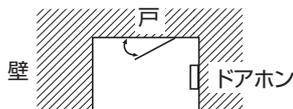
- 振動、衝撃のあるところ
- 硫化水素、リン、アンモニア、硫黄、炭素、酸、ほこり、有毒ガスなどの発生するところ
- 反響の多いところ
- テレビ、電子レンジ、パソコン、エアコンなどの電気製品の近く

ドアホン親機の設置について

- 強電界地域や電波を発する無線局周辺では、映像や音声にノイズなどが入ることがあります。
- ドアホンから約5 m以上離して設置してください。
- 本体の上下左右に20 cm以上の空間をとってください。また、壁を深くくぼませたスペースへの設置はできるだけ避けてください。(誤動作や通話の途切れ防止)
- 本体を埋め込まないでください。
- 別売のドアホンアダプターで、ドアホン親機と電話/ファクス(パナソニック製のドアホン対応機種)を接続するとき
 → ドアホン親機は、ドアホンアダプターと電話/ファクス親機からそれぞれ1 m以上離してください。

ドアホンの設置について

- 逆光になる場所への設置は避けてください。(来訪者の顔が暗く映り、識別しにくくなります)
- 下図のように反響の多い場所では、「ピー」という音(ハウリング)が生じることがあります。



- ドアホンの防水性は下記のとおりです。

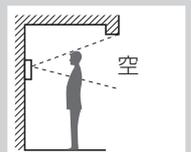
IPX3*
(旧JIS C 0920 保護等級3「防雨構造」)

* 鉛直から両側に60度までの角度で噴霧した水によっても有害な影響を及ぼさないレベル

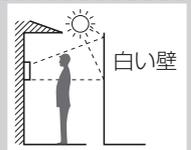
- 背面に水などが直接かからないようにしてください。

〈逆光になる場所〉

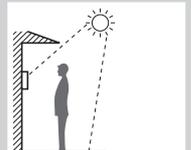
背景に空の占める割合の大きい玄関



正面に、直射日光が反射する白壁がある玄関



直射日光があたるような、明るい玄関



設置上のお願い (設置場所について)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	8/19

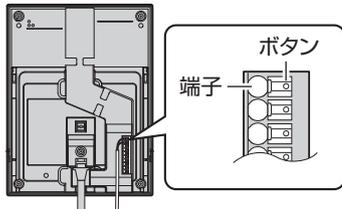
工事について

- 電源について：必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続する。
 - (1) 電源コンセントの近くに設置し、遮断装置(電源プラグ)に容易に手が届くこと。
 - (2) 3 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用すること。
- 既存または新設のドアホン配線などを接続する場合は、接続工事の前に、必ず大地アースと配線との絶縁抵抗、配線2線間の絶縁抵抗、および配線の線路抵抗値(直流ループ抵抗)を測定のうえ、下記の抵抗値と照合し、異常のないことを確認してから接続工事を行う。

絶縁抵抗値	DC500 Vにて1 MΩ以上
線路抵抗値	直流抵抗計にてループ抵抗10 Ω以内(配線距離100 m以内で)

- 本機は電気設備技術基準による施工を行う。
 - ・使用する埋込みボックスに、堅牢な隔壁(電源線とその他の信号配線材の間)を設ける。
 - ・金属ボックスを使用する場合はD種接地を行う。
 - ・配線材はAC600 V以上の絶縁電線を使用する。
- ノイズ障害が考えられる場合は、金属配管の中に接続線を通して工事を行う。
(金属管は必ず大地アースをすること)
- AC100 V以上の電力線(電灯線)とは1 m以上離して配線工事するか、別々の金属管による配管工事を行う。
- ドアホン親機の信号線接続端子は、速結端子になっているため以下の方法での結線を行う。
(接続できる線種などについては 10ページ「線種と配線距離について」)

<ドアホン親機(背面)>



配線材を挿入する場合

- ・配線材の被ふくを約9 mmむく。
- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を確実に端子に挿入する。

配線材を抜く場合

- ・ドライバーの先などでボタンを押しながら配線材を引き抜く。

- 誤配線、ショートなどが無いことを確認後、ドアホン親機の電源を入れる。

設置上のお願 (工事について)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	9/19

線種と配線距離について

(下表の記載以外で使用すると、動作不良の原因になります)

配線区間	線種	配線距離
ドアホン親機 ~ ドアホン	インターホン用平行2線式ケーブル 単芯線(mm)：φ0.65~φ0.8	100 m以内

● 別売の機器を接続するとき

配線区間	線種	配線距離
ドアホン親機 ~ インターホン	インターホン用平行2線式ケーブル 単芯線(mm)：φ0.65~φ0.8	100 m以内
ドアホン親機 ~ ドアホンアダプター		75 m以内
ドアホン親機 ~ 呼出音増設用スピーカー	ドアホン親機接続端子の許容線種 単芯線(mm)：φ0.65~φ0.8	接続する機器の 仕様に従う
ドアホン親機 ~ A接点出力端子に接続可能な機器		50 m以内
ドアホン親機 ~ 住宅用火災警報器		

ドアホンの取り付けについて

(取り付ける場所や位置に応じて下記の機器をご利用ください)

広角レンズのため、ドアホンの周囲にポストなどが設置されると、撮影範囲にポストの一部が映り込み、適正な映像範囲が得られないことがあります。

● エントランスポール(機能門柱)：パナソニック電気(株)製 (2009年10月現在)

品名	品番
アーキッシュポール	CTP151S、CTP152S、CTP153S、CTP154S
ECSSユーロポール	CTP1415B/RE/DE/HE/YE/ME/GE
アルモナポール	CTP181BML/SML/MEML、CTP181BMD/SMD/MEMD
アーキフレーム	XCTP171RCS/LCS、XCTP172CS、XCTP174CS

● サインポスト(郵便ポスト)：パナソニック電気(株)製 (2009年10月現在)

形式	品番
SP型	CTB470、CTB471、CTB470B、CTB471B
SS型	CTB570、CTB571、CTB570B、CTB571B
NM型	CTB3731、CTB3731B
GS型	CTB560B/H、CTB561B/H、CTB562B/H、CTB5622B/H、CTB5623B/H

● カメラ角度調節台：当社製 (2009年10月現在)

品番	備考	
VL-1301A	縦用	補正角度：上下方向 6°
VL-1302A	横用	補正角度：左右方向 30°

ドアホンの取付角度を変えることができます。詳しくは、カメラ角度調節台の説明書をお読みください。

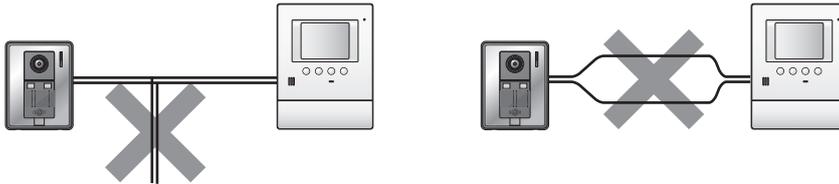
<サインポストにドアホンを取り付けるとき>

- ➔ サインポストに取り付けられている呼出ボタン(ユニット部)を外し、ドアホン本体(露出ケースを除く部分)を取り付けてください。
- ➔ サインポストの蛍光灯回路(AC100 V)とは別のケーブルを使用し、新しく配線してください。
- ➔ カメラ角度調節台(別売品)は、使用できません。

設置上のお願い (工事について)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	10/19

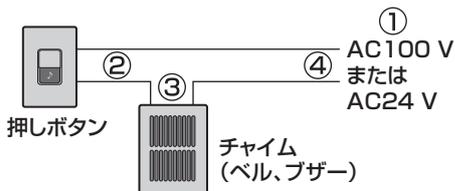
既設(チャイム/ベル/ブザー/テレビドアホン/音声ドアホン)の配線を使用して本機を取り付けるとき

- 既設の配線に電源(AC100 V、24 Vなど)が接続されている可能性があるため、必ず電気工事士の資格を持つ方が工事をしてください。(誤って接続すると故障の原因になります)
- 工事の際は、まず既設配線の電源を切り、配線材の線種(φ0.65 mm～φ0.8 mm)と配線距離を確認してから、下記の「既設の配線例と取り付け手順」に従って配線してください。
 - 「線種と配線距離について」(P.10ページ)の内容に合わない場合、正常に動作しないことがあります。このときは配線材の取り替えが必要です。
 - 線種がφ1.6 mmのときは、φ0.65 mm～φ0.8 mmの配線材に取り替える
 - 線種が「より線」のときは、単芯線ケーブル(付属品)を圧着スリーブ(付属品)で取り付けてから接続する(P.18ページ「ドアホン親機を取り付ける」の手順3)
 - ドアホン親機とドアホン間に不要な配線材があるときは、取り除くか新たに配線してください。また、下記のように配線材を分岐したり、極端にばらしたりしないでください。正常に動作しないことがあります。



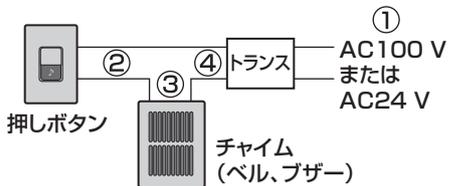
■ 既設の配線例と取り付け手順

乾電池の交換が不要なチャイムなど



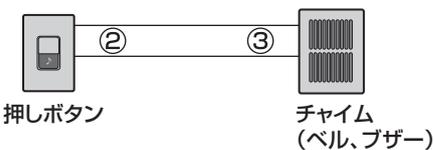
- ① 電源線(AC100 Vまたは24 V)を外す*1
 - トランスがある場合はトランスの電源線を外す
- ② 押しボタンの配線(2芯)を外し、ドアホンに接続する
- ③ チャイムの配線(2芯)を外し、両先端をつなぐ(ショートする)
- ④ 押しボタンとチャイムからの配線(2芯)をドアホン親機の速結端子に接続する
 - 押しボタンとチャイムからの配線(2芯)がトランスに接続されている場合はトランスから外し、ドアホン親機に接続する
- ⑤ ドアホン親機の電源(AC100 V)を入れる

(電源線がトランスに接続されている場合)



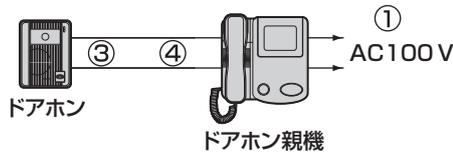
*1 外した電源線を、ドアホン親機の速結端子に接続しないでください。

乾電池式のチャイム



- ① チャイムの乾電池を取り外す
- ② 押しボタンの配線(2芯)を外し、ドアホンに接続する
- ③ チャイムの配線(2芯)を外し、ドアホン親機の速結端子に接続する
- ④ ドアホン親機の電源(AC100 V)を入れる

テレビドアホンや音声ドアホン



- ① 既設のドアホン親機の電源線(AC100 V)を外す
- ② 既設のドアホン親機とドアホンを取り外す*2
- ③ 既設のドアホンの配線(2芯)を新しいドアホンに接続する
- ④ 既設のドアホン親機の配線(2芯)を新しいドアホン親機の速結端子に接続する
- ⑤ ドアホン親機の電源(AC100 V)を入れる

*2 既設のドアホン親機を取り外す前に、新しいドアホンを接続しないでください。

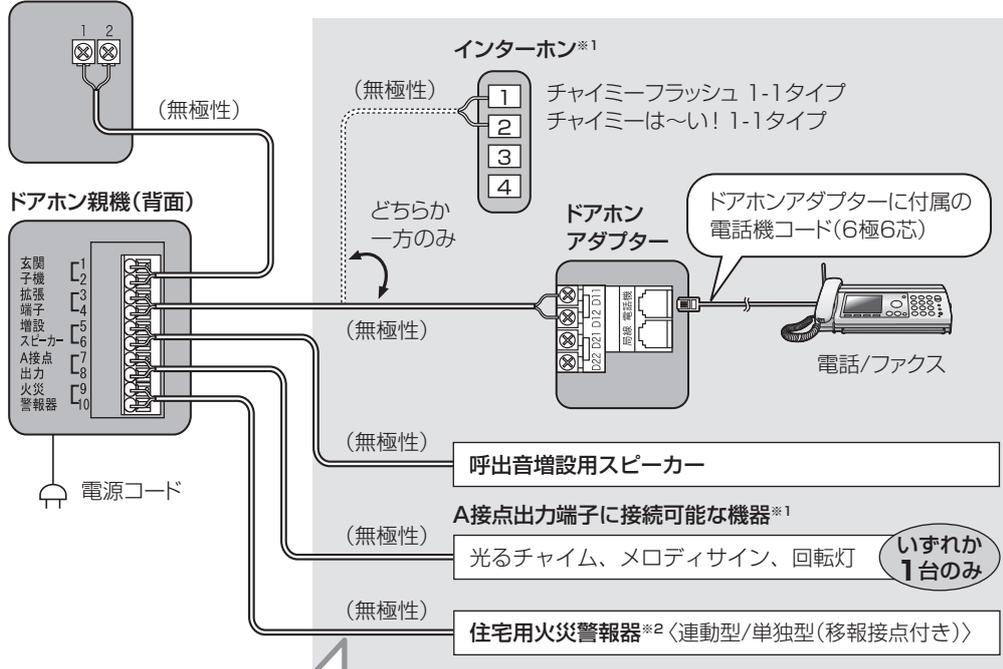
設置上のお願 (工事について)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	11/19

配線系統図

配線系統図および「線種と配線距離について」(P.10ページ)に従って正しく配線してください。

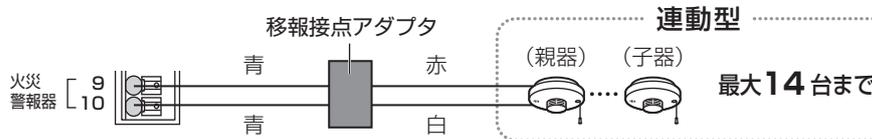
ドアホン(背面)

別売の機器(品番など詳しくは P.7ページ)



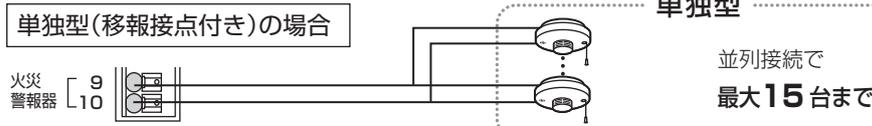
■ 火災警報器のタイプによって接続方法が異なります。

連動型の場合：移報接点アダプタ(SH2890)が必要です



- ドアホン親機に直接、連動型の火災警報器を接続しないでください。(故障の原因)
- 移報接点アダプタとの配線時は、線の色を間違えないでください。(故障の原因)

単独型(移報接点付き)の場合



- 単独型を複数台接続する場合も、火災警報器端子への入線は、1端子あたり1本にしてください。

※1 ● 下記の定格に適合した機器を接続してください。並列接続はできません。(故障の原因)

- ・ 定格負荷：AC、DC 24 V / 0.3 A以下
- ・ 最小適用負荷：DC 5 V / 1 mA

● A接点出力は、ドアホンからの呼び出しにตอบสนองすると「OFF」、ตอบสนองしないと約30秒間「ON」になります。(動作の詳細は、接続機器の説明書をお読みください)

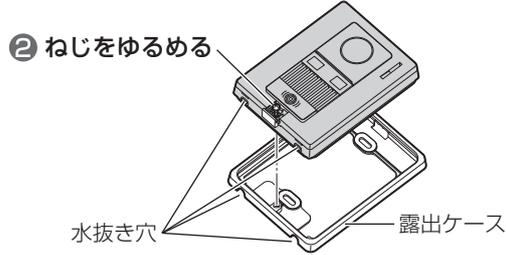
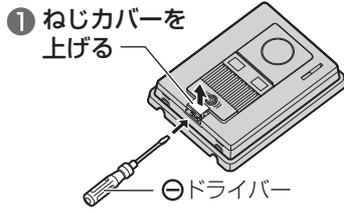
※2 下記の定格に適合した機器を接続してください。

- ・ 入力方式：無電圧メイク接点
- ・ 端子間開放電圧：DC 7 V以下
- ・ 検出確定時間：0.1秒以上
- ・ 接点抵抗値：メイク時500 Ω以下
- ・ 端子間短絡電流：5 mA以下
- ・ ブレイク時5 kΩ以上

配線系統図	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	12/19

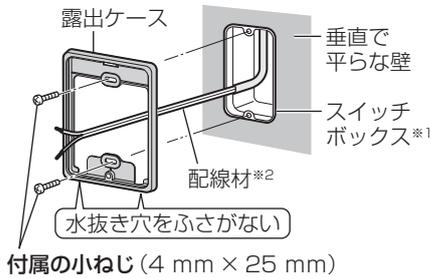
ドアホンを取り付ける

1 露出ケースを外す



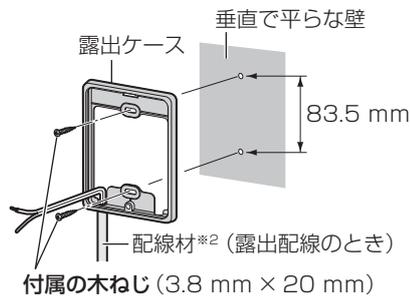
2 露出ケースを壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



付属の小ねじ (4 mm × 25 mm)

■ 壁の場合



付属の木ねじ (3.8 mm × 20 mm)

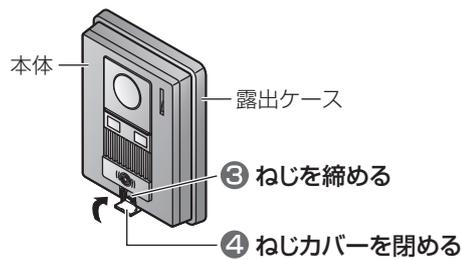
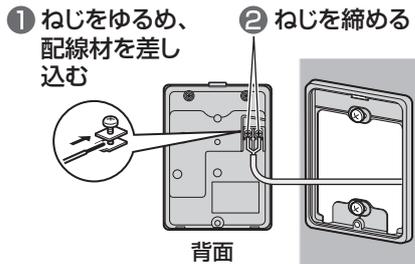
※1 JIS 1 個用スイッチボックス(カバー付き)

- カバーなしには取り付けられません。
- 底面に穴(スリット)がない場合は、水抜きのための穴を開けてください。

※2 既設の配線を使用する場合、電源線(AC100 Vなど)の可能性があります。

そのときは、電源を取り除いてください。(P.11ページ「既設の配線例と取り付け手順」)

3 配線材を接続し、本体を取り付け、固定する



ドアホンを取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	13/19

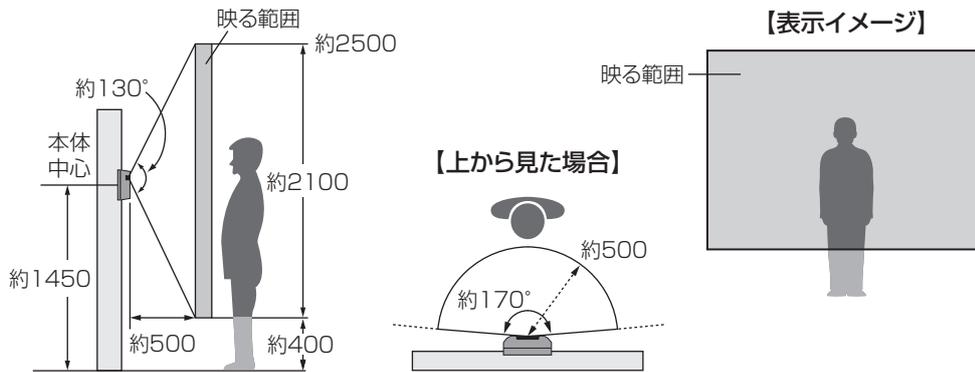
ドアホンの取り付け位置とカメラに映る範囲

ワイドまたはズームでの撮影ができます。

ドアホンからの呼び出し映像は、ドアホン親機の「着信画面設定」(取扱説明書24ページ)により、お買い上げ時は「ワイド」に設定されています。

- 下記は、標準位置(本体中心までの高さが約1450 mm)に設置する場合で、カメラから約500 mm離れた場合の数値です。(単位: mm)

ワイドのとき〈お買い上げ時の状態〉

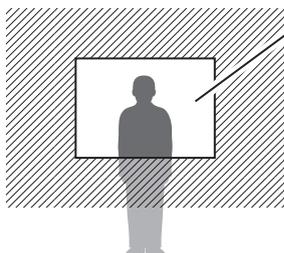


ドアホンを取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	14/19

ズームのとき (設定が必要) (取扱説明書24ページ)

ワイドで映る範囲の一部を縦横約2倍に拡大表示します。

【表示イメージ】



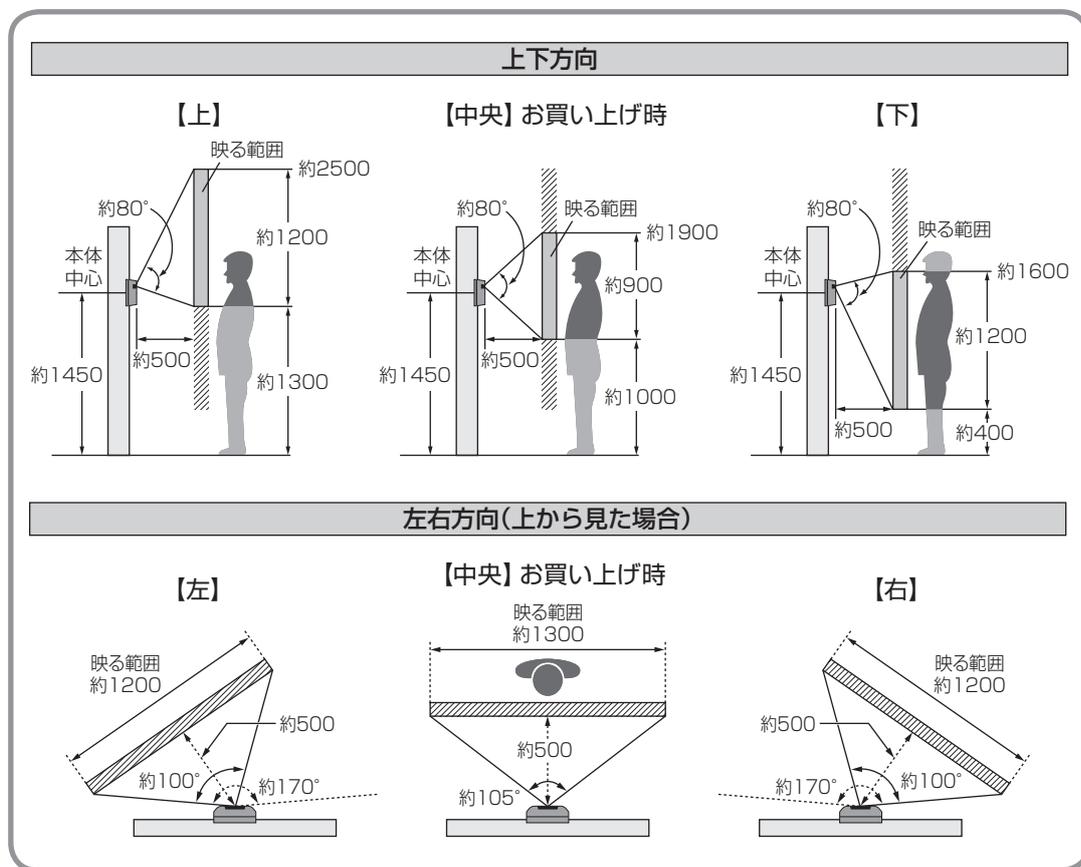
ズーム時に映る範囲(お買い上げ時：中央)

- 映る範囲(ズーム位置)は、9か所の中から選ぶことができます。(取扱説明書25ページ)

ズームに設定して使うとき

ドアホン取り付け後、下記の「ズーム時に映る範囲」を参考に、実際の画面を確認しながらズーム位置を設定してください。

「ズーム時に映る範囲」



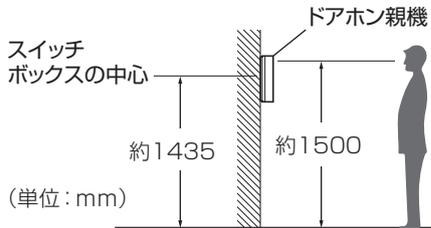
ドアホンを取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	15/19

ドアホン親機を取り付ける

ドアホン親機の取り付け位置(高さ)

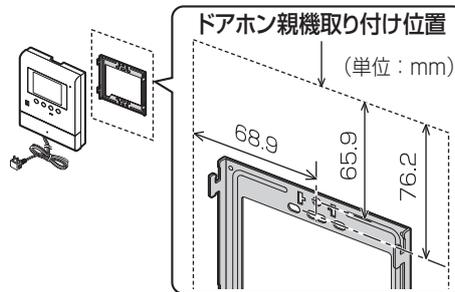
よくご利用になる方の目の高さにモニター画面の中心がくるよう取り付けてください。

(例) 床から約1500 mmの高さに画面の中心がくるように取り付けるとき



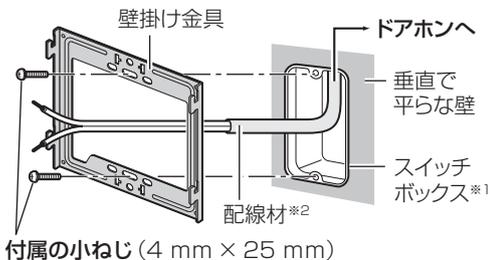
壁掛け金具の取り付け位置

ドアホン親機の取り付け位置が指定されている場合、壁掛け金具は下図の位置に取り付けてください。

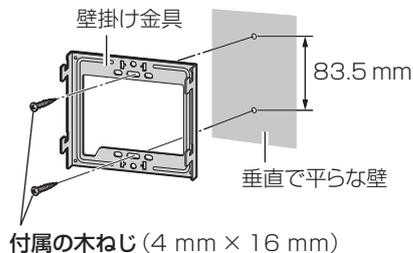


1 付属の壁掛け金具を壁面に確実に取り付ける

■ スイッチボックスの場合



■ 壁の場合



※1 JIS 1 個用スイッチボックス(カバー付き)

・カバーなしには取り付けられません。

・電源線とその他の信号配線材などが混在する場合は、絶縁セパレーターを取り付けてください。

※2 既設の配線を使用する場合、電源線(AC100 Vなど)の可能性あります。

そのときは、電源を取り除いてください。(P.11ページ「既設の配線例と取り付け手順」)

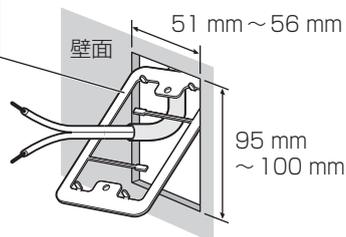
■ パネル壁(石こうボード)の場合

壁に下図のように穴をあけ、脱落を防止するため、右記のはさみ金具を使って取り付けてください。

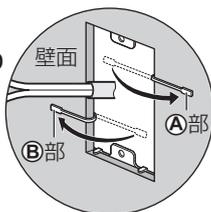
はさみ金具: パナソニック電工(株)製

品番	対象壁
WN3996020	9 mm~30 mm厚の石こうボード

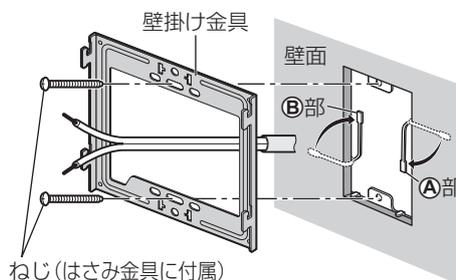
① はさみ金具を壁面の裏側に入れる



② ①部・②部を
図のように折り
曲げ、はさみ
金具を壁面に
仮固定する



③ 壁掛け金具とはさみ金具を、ねじで 仮止めする



④ ①部・②部を壁端面まで戻し、ねじを 締めて固定する

● ①部・②部を、壁掛け金具と壁面に
挟み込まないようにしてください。

ドアホン親機を取り付ける

品名

テレビドアホン

品番

VL-SV32KL

パナソニック システムネットワークス株式会社

作成

2009年9月

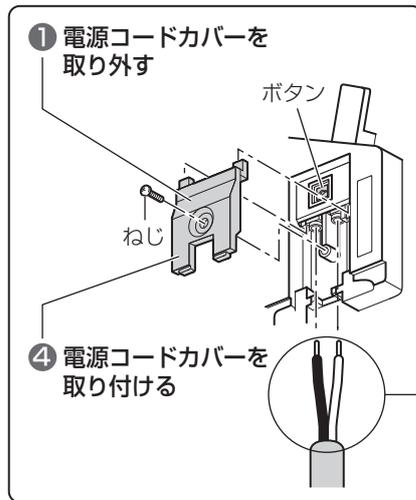
変更

2010年1月

16/19

2 [AC100 V 電源線を直結する場合のみ]

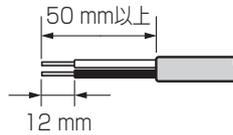
電源線を接続する 電気工事士の資格が必要



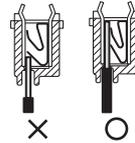
② ドライバーの先などでボタンを押しながら、電源コードを取り外す

③ AC100 V電源線を下記のように接続する

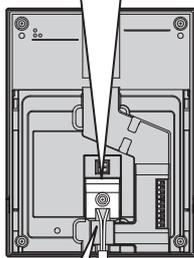
1. 被ふくを12 mmむく
(線種: $\phi 1.6 \sim \phi 2.0$ 単芯線)



2. ドライバーの先などでボタンを押しながら、奥まで確実に差し込む



〈AC100 V電源線接続端子断面図〉



ドアホン親機
(背面)

⚠ 注意

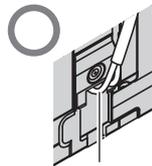
奥まで確実に差し込む



差し込みが不完全な場合、
発熱の原因になることが
あります。

《電源線の処理について》

取り付け時に壁掛け金具で
挟み込まないように注意し
てください。



電源コードカバーに
沿って曲げる



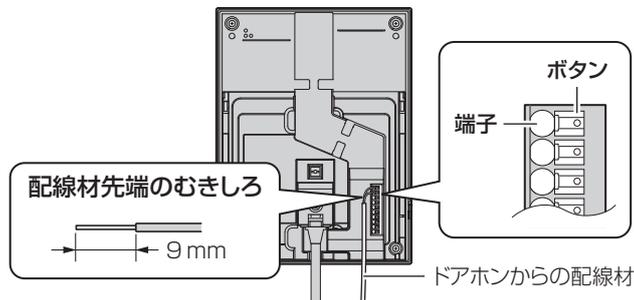
下側で曲げない*
(挟み込みの原因)

※ 線処理が困難なときは、電源コードカバーを取り外してください。
(外した状態でも問題なく使えます)

ドアホン親機を取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	17/19

3 配線材を接続する

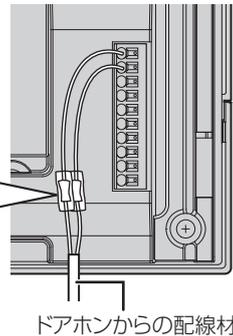
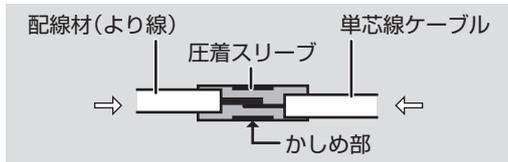
- 電源線(AC100 Vなど)は、絶対に接続しないでください。故障の原因になります。
(☞ 11ページ「既設の配線例と取り付け手順」)
- 配線系統図(☞ 12ページ)に従って正しく接続してください。
- 配線材は、各端子の横にあるボタンをドライバーの先などで押しながら抜き差ししてください。



配線材の線種が「より線」の場合

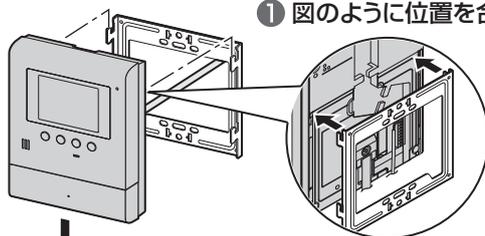
確実に結線するため、単芯線ケーブル(付属品)を圧着スリーブ(付属品)で取り付けてから接続してください。

- かしめは圧着工具を使用し、確実にかしめてください。



4 ドアホン親機を取り付ける

① 図のように位置を合わせる



② ドアホン親機を押し下げる

5 [電源プラグで使用する場合のみ]

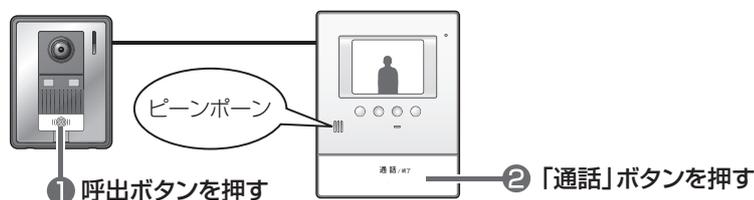
電源プラグのキャップを外して、コンセント(AC100 V)に差し込む

ドアホン親機を取り付ける	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	18/19

正しく動作するか確認する

取り付け・接続後、正しく配線できているか下記の手順で動作を確認してください。

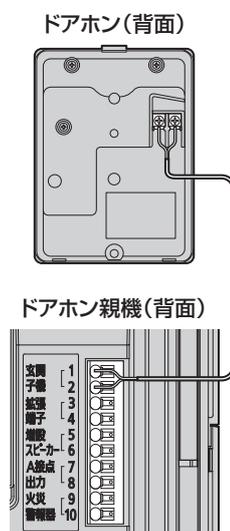
- ① ドアホンの呼出ボタンを押し、ドアホン親機で呼出音が鳴り、映像が映ることを確認する
- ② ドアホン親機の「通話」ボタンを押し、ドアホンと通話できることを確認する
 - 確認が終わったら、ドアホン親機の「通話」ボタンを押し



■ ドアホン親機が動作しないとき

正しく配線されていない可能性があります。
次のことを確認してください。

- ドアホン側、ドアホン親機側の端子に、それぞれ配線材が確実に接続されていますか？
- 正しく接続したのにドアホン親機が鳴らない場合、壁内での配線がおかしくなっている可能性があります。下記の手順で、確認してください。
 - ① いったんドアホンを外してドアホン親機の近くに持っていく
 - ② 短い配線材などを使って右図のように直接つなぐ
 - ③ 再度、動作を確認する
 - ➔ 正常に動作すれば、壁内の配線に問題があります。配線を確認してください。



ドアホン親機を取り付ける (正しく動作するか確認する)	品名	テレビドアホン	品番	VL-SV32KL	
パナソニック システムネットワークス株式会社	作成	2009年9月	変更	2010年1月	19/19